



市では、市民の皆さんや「県立新発田病院跡地活用市民検討委員会」から寄せられたさまざまなご意見を参考に、整備方針を定め、「県立新発田病院跡地活用整備構想」を策定しました。

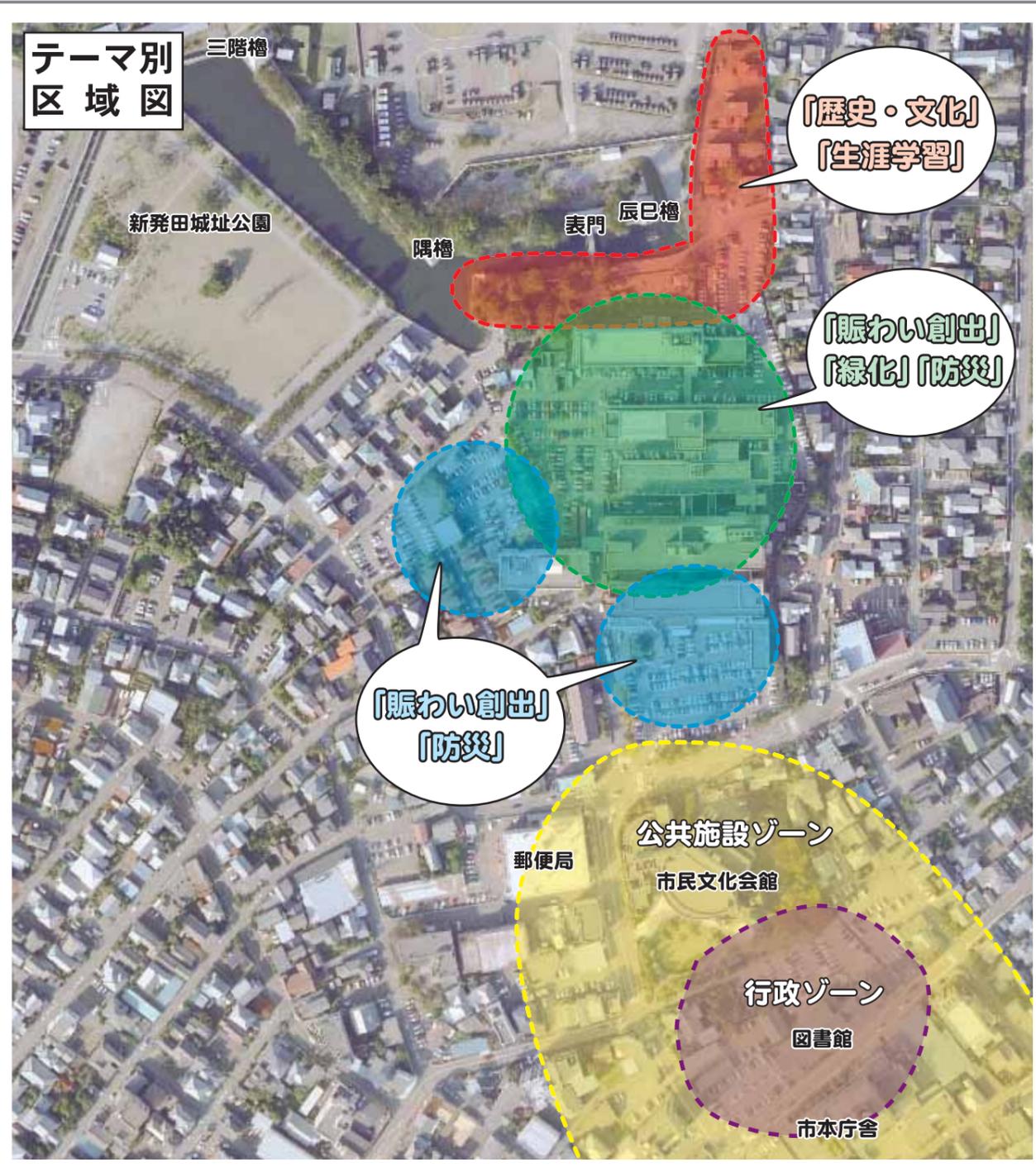
○整備構想の詳細については、企画政策課窓口にある冊子をご覧ください。また、市ホームページをご覧ください。

○区域内テーマについては、区域内テーマはおおむね下図のとおりですが、歴史的施設は位置が特定されるため、区域内テーマと合致しないことがあります。

その他

○行政ゾーンについて

当初、病院跡地の活用については、「行政サービス」機能も含めて検討していました。その後、同時期に進めていた、市新庁舎建設検討の場、「行政サービス」機能の検討を委ねました。その結果、跡地周辺には景観を保全するための建築制限を設けていることから、建設候補地は「現庁舎周辺」とすることが望ましいとの結論に達し、「行政ゾーン」を病院跡地に隣接する区域に設定しました。



県立新発田病院跡地 整備構想を策定しました！

だれもが利用できる場所へ

県立新発田病院跡地
活用整備構想

整備構想は、5つのテーマ「緑化」、「歴史・文化」、「生涯学習」、「賑わい創出」、「防災」を組み合わせて、土地の利用方針などについて定めています（下表及び次ページ図参照）。

今後は、整備構想に基づき、更に検討を加え、具体的な施設の整備などに向け、基本計画を策定していきます。

整備の時期について

特別養護老人ホーム二の丸や下越広域伝染病舎の敷地も、整備の対象となっています。そのため、跡地整備の時期については、それぞれの土地の取得時期や財政計画を考慮し、短期・中期・長期に区分して整備していきます（下表参照）。

区域内テーマ	整備時期	整備における考え方	具体的施設・活用の例（※）
「歴史・文化」 「生涯学習」 (次ページ図 赤色部分)	中期（一部、短期または長期のものがあります）	▶新発田城表門など、歴史的遺産が現存する区域です。区域内の景観を保全し、その価値を高めます ▶新発田の未来を担う子どもたちや市民が、歴史を学び、新発田の人としての心を醸成する生涯学習の場として整備します	■土橋門、土壘の復元及び表門前の市道の遊歩道化 ■武家屋敷の復原 ■堀の復元 ■市史に関する史料館的要素を含めた複合・生涯学習施設の整備 ■道学堂塾の開催
「緑化」 「賑わい創出」 「防災」 (次ページ図 緑色部分)	短期・中期	▶市民の憩いの場として、また、イベントが開催できる場所として、緑豊かな広場を整備します ▶災害発生時は、避難場所などとして活用できるよう整備します	■防犯性、安全性に配慮し、市の花「アヤメ」や、市の木「サクラ」を活用した見通しの良い公園の整備 ■多くの市民が集える、イベント会場としても利用可能な広場の整備 ■災害発生時に、緊急避難場所や災害ボランティアの拠点などに転用できる公園の整備 ■平常時は目立たず、災害発生時に効果を発揮する施設（埋設型非常用便槽など）の整備 ■調整池としての水施設の整備
「賑わい創出」 「防災」 (次ページ図 青色部分)	短期・中期	▶新発田城や公園の来場・利用者のため、また、隣接する商店街や公共施設ゾーンと連携して活用できるよう整備します ▶災害発生時、避難者への災害物資の搬入場所などに活用できるよう整備します	■新発田城や公園来場・利用者のための駐車場整備 ■商店街や近隣公共施設利用者のための駐車場整備 ■駐車場をイベント会場として活用 ■民間事業者の物販スペース ■災害発生時、駐車場を救援物資搬入場所として活用

※具体的施設・活用の例は、仮に想定したものであり、決定事項ではありません。具体的な施設などの整備の検討は、今年度に行います。

問い合わせ先
企画政策部
企画政策課
☎ 22-3101